

衆議院法務委員会ニュース

平成 30. 6. 1 第 196 回国会第 17 号

6 月 1 日（金）、第 17 回の委員会が開かれました。

1 裁判所の司法行政、法務行政及び検察行政、国内治安、人権擁護に関する件

・上川法務大臣、山下法務大臣政務官、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

黄川田仁志君（自民）

- ・国際仲裁を活性化するため、現場の声である各企業の法務担当者の本音を聞き、我が国が目指すべきより具体的な国際仲裁の在り方を模索すべきと考えるが、法務省の見解を伺いたい。
- ・国際仲裁の活性化についての法務大臣の意気込みを伺いたい。
- ・2020 年の京都コンGRESSにおいて、国内外に SDG s への取り組みをアピールしてもらいたいと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

松田功君（立憲）

- ・法制審議会少年法・刑事法（少年年齢・犯罪者処遇関係）部会の分科会の中間報告において起訴猶予等に伴う再犯防止措置として挙げられている、改善更生のために社会内における働き掛けが必要な被疑者について、検察官が一定の守るべき事項を設定した上で保護観察官が指導・監督を行うような措置の導入は、訴追をする検察官と事実を判断する裁判官とを明確に分けるという刑事司法の基本原則に反し、検察官の本来の役割から逸脱するものとするが、法務省の見解を伺いたい。
- ・刑事訴訟法改正により被疑者国選弁護制度の対象事件の範囲が全ての身体拘束事件に拡大され、身柄を拘束された大人の被疑者には国選弁護人が付くのに、観護の措置で身柄を拘束された少年には国選付添人が付かない場合があるというのはバランスを欠くと考えるが、法務省の見解を伺いたい。
- ・少年の人権の観点から、基本的に付添人が付くように国選付添人制度の対象事件を拡大すべきと考えるが、法務大臣の考えを伺いたい。

松平浩一君（立憲）

- ・安倍内閣総理大臣が「移民政策はとらない」としているように労働移民を認めていないにもかかわらず、我が国で外国人労働者が増えているのはどういうことなのか、法務省の見解を伺いたい。
- ・深刻な人手不足を踏まえ、専門性を有しない外国人材の受入れを検討する必要があると考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

- ・我が国経済の活性化に資する外国人起業家の受入れを促進すべきと考えるが、法務省の取組を伺いたい。

柚木道義君（国民）

- ・日本大学のアメリカンフットボール部による悪質な反則問題について、反則行為をした選手だけに刑法上の責任が押しつけられることのないよう、指示をしたと言われている監督やコーチについても厳正な捜査を行うべきと考えるが、警察庁の見解を伺いたい。
- ・森友学園への国有地売却に関する問題で、財務省職員 38 名が全員不起訴となったことについて、国民の理解が得られていると考えているのか、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・平成 16 年に発生した岡山県津山市の女兒殺害事件について、犯罪者に関するデータベースが十分活用されていれば、14 年もかからず逮捕に至ったのではないかと考えるが、警察内での情報共有はどのようになされていたのか、また、改善の余地はあるのか、警察庁に伺いたい。

藤野保史君（共産）

- ・司法修習生に貸与した修習資金の返還について、返還猶予の申請の期限はいつまでか、期限経過後に返還猶予の申請をすることはできないのか、最高裁判所当局に伺いたい。
- ・テロ等準備罪を新設する法律が施行された平成 29 年 7 月 11 日以降、テロ等準備罪が適用された件数を伺いたい。
- ・証拠収集等への協力及び訴追に関する合意制度について、合意に向けた協議が始まる前の内容や弁護人が関与する協議の経過も合意内容書面に記載すべきであるとするが、法務大臣の見解を伺いたい。

串田誠一君（維新）

- ・受刑者が体調不良を訴えても、それが詐病である可能性があるが、受刑者が体調不良を訴えた場合にどのように対応しているのか、法務省に伺いたい。
- ・一般の病院は脱走が容易であるとするが、一般の病院において鑑定留置中の者や治療のために入院している受刑者の脱走を防止するためにどのような対策を講じているのか、法務省に伺いたい。
- ・受刑者に対してインフルエンザの予防接種を実施しているの

か、また刑務官が一斉にインフルエンザにり患した場合の刑務所の対応はどのようにしているのか、法務省に伺いたい。